

高齢歩行者が道路横断中に交通事故に遭わないために実践！！



高齢歩行者の交通事故の約半数は、自宅から500m以内で発生しています。
その大半は、「信号無視」や「横断禁止場所横断」等、歩行者側に違反があります。



歩行者編

実践 その1

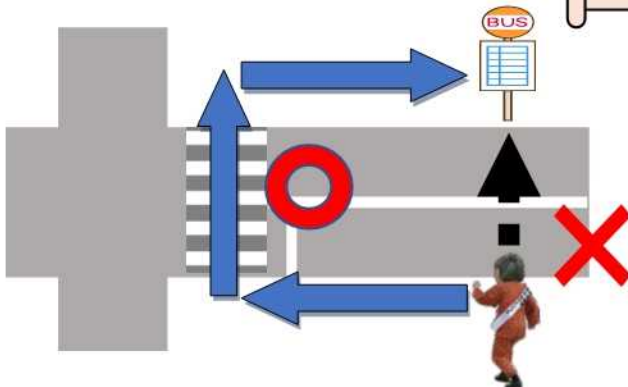


横断する前に一呼吸おいて、
左右の安全確認を！

『斜め横断』の禁止！

遠くに車が見えたら要注意！
車が来るより先に渡り切れると思っても、斜め横断をすると道路上にいる時間が長くなり危険です。
車はあっという間に近づいてきます。

実践 その2



『車両の直前直後の横断』は禁止！

『付近に横断歩道がある場合は、その横断歩道を横断』

車の流れは日々変化します。
生活道路と交差する広い道路に注意！
信号機のある交差点や横断歩道を渡りましょう。

急がば回れ!!

歩行者にも守るべきルールがあります。

実践 その3



『反射材』や明るい色の服を着て、
自分の存在をアピール！

『慣れた道でも油断禁物』

夕暮れや夜間は、周りがよく見えなかったり、
学校や会社帰りの人が帰路を急いでいたり、
昼間とは違った危険が隠れています。



『反射材』を身に着けましょう!!

～神奈川県警察～